

# 北海道

## HOKKAIDO

ニュースや話題は

北海道報道部 ☎011-231-3085  
FAX011-222-1049

問い合わせ

広告部 ☎011-281-5364

主催事業 事業部 ☎011-281-5252

購読は 販売部

フリーダイヤル 0120-468-012

Eメール

h.houdou@mainichi.co.jp

ホームページ

http://mainichi.jp/area/hokkaido/

### ウチの場合は

森下裕美

(3808)



## 解放

ストップDV最前線

カップル間のドメスティックバイオレンス(DV)であるデートDV。札幌市の市民団体「ピーチハウス」は高校や大学などに出向き、デートDVの防止を目指す講座を開催している。講座ではデートDVの事例を紹介した後、加害者と被害者役に分かれたロールプレイングやグループ討論などを行っている。

### カップル間の「デートDV」

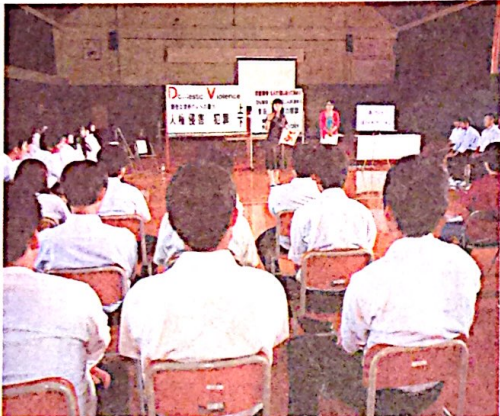
「ピーチハウス」は2004年、地域の子どもたちが安心して生活できるように、近所の母親4人で設立した。当初は子どもたちの被害を防ぐための活動をしてきた。DVが社会問題化し、夫婦間だけでなく、10代カップルなどのデートDVも顕在化したことから、08年からDV防止講座を始めた。当初は年3校程度だったが、今年は15校で実施する予定。

志堅原さん自身は11ヶ月、DV被害者の支援

いからだ。その人たちに「暴力は絶対に悪い」と「加害者プログラム」研修を受けても意味がない」と説明する。

「ピーチハウス」は2004年、地域の子どもたちが安心して生活できるように、近所の母親4人で設立した。当初は子どもたちの被害を防ぐための活動をしてきた。DVが社会問題化し、夫婦間だけでなく、10代カップルなどのデートDVも顕在化したことから、08年からDV防止講座を始めた。当初は年3校程度だったが、今年は15校で実施する予定。

# 一人のことは二人で



札幌市の札幌保健大学で今年7月、デートDV防止講座を行う志堅原さん(中央)＝ピーチハウス提供

## 若い時から意識改革を

講座では当初、「緊張や恐怖を感じたらDVを疑いましょう」などと女性被害者を想定した呼びかけが多かった。しかし、

という当事者意識を持つよう講座内容を練り直し、「暴力を選ばない

が担当しました)

意識と環境作り」を呼び掛けた。講座終了後のアンケートでは、男女から「自分も暴力への認識が低いと思った」という反応が増えたという。志堅原さんは「暴力とは他人の自己決定権を奪うこと。二人のことなのにすべてを一人で決めることがDVにつながる」という。自分のことは自分で選び、二人のことは二人で話し合う。そんな恋愛関係が楽しいんだということを伝えていきたい。子どもをDVから救い、そして、社会からDV被害者を減らすためには、若い時からの意識改革が重要だと強調している。

中央区の会社に支払先口座が変わったなどとうそを言って、昨年3月から同9月まで9回にわたり、計約145万円を自身が役員を務める会社の口座に振り込ませ、だまし取ったとしている。容疑を認めているという。

同日によると同日午後5時45分ごろに角野容疑者を逮捕した。後、逮捕状に札幌簡裁の押印がないことに気付いた。いったん釈放。午後8時10分ごろ緊急逮捕した後、逮捕状を取り直した。「安達恒太郎 女児虐待容疑で母親ら2人逮捕」

札幌北署は1日、当時小学1年だった女児を虐待したとして、札幌市中央区南6西8、飲食店従業員、山下雄

札幌北署 参院選道選挙区 来夏の参院選道選挙区(改選数3)に向け、自民党道連は1日、2人目の候補者の公募を開始した。既に現職の長谷川岳氏(44)＝1期目を公認している。公募期間は11月30日まで。対象は北海道にゆかりがある日本国籍の満30歳以上の人で、党籍の有無は問わない。申請書や履歴書などのほか、政治に関する